

令和7年度学力向上のための重点プラン【中学校】新宿区立牛込第二中学校

■ 学校の共通目標 【HP公開用・様式1・7年5月15日】

授業作り	重点	一人1台タブレット端末の効果的な活用法を探究し、生徒一人ひとりが主体的に学習に取り組める授業作りを目指す。
環境作り		教材の内容や提示方法の工夫、協働的な学びの実現に向けた学習形態の工夫などを通して、学びに向かう環境作りを目指す。

■ 各教科の取組について

教科	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子などから)	目標達成のための取組
国語	・令和6年度実施の新宿区学力定着度調査より、「漢字の読み書き」について課題があった。	・授業や家庭学習において、漢字の読み書きについて時間を確保することを通して、「漢字の読み書き」の定着を図る。	①定期考査での漢字の読み書きに関する問題の出題 ②平素の授業での漢字の確認問題の取組
数学	・令和6年度実施の新宿区学力定着度調査では、1年は「数と式」2年は「図形」について課題があった。	・基本用語を理解し、反復練習を行いながら自由進度学習で、計算力の定着を図る。 ・身に付けた知識を根拠として、解法について説明する活動を増やしていく。	①基本事項確認後に自由進度学習 ②小集団での説明・発表 ③各単元の目標達成シート、振り返りシートなどの作成
理科	・令和6年度実施の新宿区学力定着度調査では、「身のまわりの物質」や「化学変化と原子・分子」の分野について課題があった。	・基本的な化学反応について理解し、反復練習を行い、考え方の定着を図る。 ・身に付けた知識や考え方をもとにして、実験結果から考察を広げていく活動を増やしていく。	①小集団での活動やレポートの作成の充実 ②ワークシートの工夫 ③デジタルドリルの活用
社会	・令和6年度の新宿区学力定着度調査では1年は地理および思考・判断・表現の正答率に課題があった。また、2年は歴史の知識・技能、思考・判断・表現に課題が残った	・基本用語などを理解し、知識の定着を図る。 ・話し合い活動の充実や自分の考えを書いたり、発表したりする機会を充実させる。 ・自由進度学習で教え合いの活動を取り入れる。	①デジタルドリルの活用 毎回の小テストの実施(3年) ②ワークシートの工夫、用語を使った話し合い活動の充実 ③自由進度学習
英語	・令和6年度新宿区学力定着度調査では、「英文や対話に応じた英文記述」と「必要な情報の聞き取り」に課題があった。	・反復練習や小テストを十分に取り入れ、基礎・基本となる語彙力を伸ばす。 ・場面に応じた即興的な対話活動を帯活動として行い、リスニング力、表現力を高める。 ・多様な英文に触れ書くことを習慣化し、読み取る力を伸ばす。	①少人数グループによる指導 ②即興的表現の帯活動の充実 ③TeamsのAI音読課題を使用 ④ICT機器を活用したテストや発表活動 ⑤デジタルドリルの活用